

## 世界情報技術産業会議（WCIT 2012）報告

2012年10月22日から24日までの3日間、カナダ・モントリオール・コンベンションセンターで世界情報技術産業会議（WCIT 2012）が開催された。参加者は62カ国から1,300名。うち日本からは、22名（他に同伴家族7名）が参加した。

第1日目は朝8時から、カナダ総督 D. Johnston 氏の歓迎挨拶に始まり、カナダ生まれのデジタル評論家、Don Tapscott 氏の総合司会によって、3日間で14の講演、7つのパネルディスカッションが行われ、「グローバルデジタル社会のためのビジョン」のテーマのもと、ICTの持つ様々な課題と可能性について、発表と討論が行われた。

また会議と平行して、韓国情報産業連合会（FKII・会長 LG CNS キム社長）との協力関係についての協議、カナダ外務・国際貿易省・投資貿易アドバイザーと JISA 参加メンバーとの懇談、カナダ ICT 産業についての情報提供等が行われた。

2日目には、北米で著名なラジオ・テレビ司会者ラリー・キング氏が登壇し、インターネットの父として著名な Robert Kahn 氏らとインターネットの可能性とデジタル社会へのインパクトについて、ビデオ会議もまじえ意見交換が行われた。

最終日には、それまでの議論や発表のエッセンスをもとに、「オープンで適切かつ透明性のあるインターネットアクセスと、技術、基盤、接続性への継続的投資を行うことによってビジネス環境の改善と経済の持続的成長を果たし、すべての国々と市民に対し情報技術の恩恵をもたらすことができるよう関係者と努力を行っていく」とするアクションプランがまとめられ、モントリオール宣言として発表された。

最後に次回メキシコ・グアダラハラでの WCIT2014 への引き継ぎセレモニーが行われ閉会となった。

(JISA 国際部 山本)